

令和3年2月27日

御挨拶

今年も春めいた日が多くなり、バレーボーラーの皆さんはすでに本格的な練習をされている方も多いのではないのでしょうか。ただし、今年の春はいつもと違う様相です。

第一の違いは、本会総会のありようが違います。対面ではなく、議案の郵送等により議決する書面での実施です。昨年も同様の方法でしたが、新型コロナウイルス感染拡大状況から、早々にこの方法で実施することを決定せざるを得ませんでした。猛威をふるう新型コロナウイルスへの対応であるため来年はコロナ禍が収束し、みなさまと対面での議論が行われるであろうことを期待しております。

第二は、4月から本会が任意団体から法律的に責任を有する一般社団法人に生まれ変わることです。法人化されたバレーボール協会は全国的に少数ですが、組織の社会的信用を得るために法人化は必要不可欠です。全国的に先鞭をつけた本会は、先進県として誇ることができると思います。また、法人化は本会に大きな変化をもたらします。組織内の連携を深める構成や財政を見直し、より健全化を目指すこと、そして何よりも本会役員の若返り人事案を構想しています。会長、副会長、専務理事、副理事長、各委員長の多くは、現役員より若年でフレッシュかつ活気のある方たちばかりです。この人事案が御承認いただければフットワークの軽やかなバレーボール愛好者集団が誕生します。新生AVAに幸あれと願っています。

そして第三は、なんといっても今年7月に開催が延期された東京オリンピックです。

「東京オリンピック」といえば、我々世代は1964年を思い浮かべますが、今回はオリンピックの歴史が変わるといってもよい「2020 ないしは 2021 オリンピック」となります。コロナ禍での開催方法や組織委員会人事で注目が集まっていますが、本県を活動拠点とするバレーボール代表選手が多く、その点にぜひ注目したいと思います。愛知県とバレーボールを繋ぐ絶好のチャンスでもありますので、本会あげてエールをおくりたいものです。

最後になりましたが、書面による議案議決および新生AVAへの御理解と御協力をお願いし御挨拶とさせていただきます。

愛知県バレーボール協会
会長 坂井克彦